

スギ組織培養苗の順化手順

培養ビンの中いっばいに育ったスギ苗をどうしても野外で育てたいという場合、外の環境に苗を徐々に慣らしていく操作（“外気順化”または単に“順化”といえます）が必要です。

手順を図に示しますが、必ずしも成功するわけではないことご承知おきください。密閉された培養ビンの中は、栄養状態・無菌・高湿度など、かなり特殊な環境です。培養苗は、初めから外の環境で育った実生苗と違いもやしこでするので、ゆっくりゆっくり外の環境に慣らしてあげてください。

問い合わせ
 国立研究開発法人
 森林研究・整備機構 森林総合研究所
 相談窓口

Email: QandA@ffpri.affrc.go.jp



1. 苗をビンから取り出し、根に着いた寒天をよく洗い落とします。



2. 鉢やプラスチックポット（底に穴の開いたもの）に移植します。土はできれば滅菌されたものが良い（市販のバーミキュライトや水苔で大丈夫です）。土はしっかり吸水させてください。

~2ヶ月



ここまで元気に育てば、陽の下に出しても、地植えしても大丈夫！

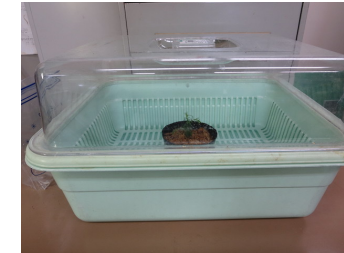
7. 外気順化後、4週間~2ヶ月ほど、苗を直射日光の当たらない明るい環境で育てます。水は優しく散水、肥料は月に1~2回程度あげてください。



6. 移植から4週間後、フタを完全に外します（外気順化完了!）。

4週間後

5. フタを少しずつ開け（ビニール袋の場合は穴を開けていく）、外気条件に徐々に慣らします。これ以降、土が乾かないよう、適宜灌水してください。



3. 密閉できる容器（フタは透明）に鉢を入れ、容器の底に少し水を入れておきます。フタ付きの洗い物の水切りカゴ（フタの代わりにラップでも可）または、ビニール袋を使うこともできます。



密閉
2週間

4. 鉢を少し薄暗い室内に置き、フタを完全に閉めた状態で2週間ほど生育させます。直射日光が当たる場所、蛍光灯の直下、高温は避けてください。